

# 世界遺産通信

## IN 近野小学校

### vol.02

令和5年7月

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

和歌山県世界遺産センター発行

### 近野獅子舞団から学ぶ



近野小学校では、7月7日(金)に、近野獅子舞団から3名の団員さんを招き、近野小の伝統となっている県文化財「野中の獅子舞」の練習が行われました。【世界遺産学習全国サミットinたなべ】での発表に向けて1学期から継続的に取り組んできており、この日は、団員の方から練習の進み具合の確認とアドバイスがありました。練習を見た団員の森さんからは、「笛の切れ目が分かってきている」「ゆっくりふけばできる」などが伝えられました。全校児童19名一人ひとりに役割があり、一生懸命練習している様子を拝見し、当日までの仕上がりがとても楽しみだと感じる1日となりました。

### 獅子舞の指導を受けて



森さんからアドバイスをもらって良くなったと思う。1学期に練習をしていて出来るところが増えた。  
(児童)

朝の会や音楽の時間などで継続的に練習していた成果が出てきていると感じる。2学期も頑張っていきたい。(5,6年担任)

近野小学校 佐武校長先生

全体での活動を見て練習の成果が出てきている。サミットに向けては、子どもたちのがんばりに期待したい。昨年とは違い、発表する場が色々できたらうれしいし、ただ練習するだけで終わりじゃなくて目標を持って取り組めたらいいと思う、と話されており19人の子供一人ひとりに目を向けられていたのがとても印象的でした。

### 世界遺産の考え方を学ぶ

当センターの職員が、7月7日(金)に近野小学校で世界遺産学習を行いました。世界遺産の考え方になった出来事や、登録されている資産について話しました。当日は、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録された日ということもあり、子どもたちの印象にも残っていてくれればとひそかに期待していました。住んでいる地域に誇れる場所があることをこれからもたくさんの子供たちに知ってもらえるように伝えていきたいと思います。



世界遺産について講義をするセンター職員